



ワークショップ ファシリテーター 養成講座 受講者募集

前期

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT では、2014年度より長期的な視点をもって人材育成事業を開始いたしました。

演劇・ダンス・音楽などの舞台芸術や美術などのアートが持つ力や、アーティストの力を様々な場面で活用して、地域の人々をつなぎ、より豊かな市民社会を構築するための拠点となることは、劇場の重要な役割です。

それを実現するための有効なツールに、ワークショップがあります。ワークショップといっても様々な分野のものがありますが、プラットでは演劇ワークショップを中心に実施していきます。地域にどの様な人が居て、どの様な課題が存在し、その為にどの様に演劇ワークショップを活用したらよいかを考え、それを実践できる人材が不可欠です。ワークショップを進行する人材、ファシリテーター（進行役）と言われますが、そうした人材を長期的・継続的な視点で地域に育成することを目指して行います。

応募締切 2017年7月4日 17時必着

募集開始
5月15日

◆ 期間 2017年7月15日(土) - 8月27日(日) 《全7回》

◆ 会場 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT ほか

◆ 講師 すずきこーた

演劇デザインギルド理事・ワークショップファシリテーター・俳優
演劇的手法を様々な場面に取り入れたワークショップを数多く進行。多文化共生やまちづくりの場でのワークショップも多いが、小中高での演劇を取り入れた授業も多く、先駆的な手法は高い評価を受けている。また、演劇を使って討論するフォーラムシアターも数多く実施。日本だけでなく、メキシコ(高校生)、インドネシア(紛争被害にあった子どもたち)など、活躍の場は多岐に渡る。神奈川県立大師高校・目白大学非常勤講師。

青山公美嘉 (あおやま・くみか)

演劇百貨店
桐朋学園大学短期学部芸術科演劇専攻にて演劇を学ぶ。1999年に渡英し大道芸人として活動。帰国後、演劇百貨店のワークショップに進行スタッフとして参加。老若男女問わず愛される親しみやすいキャラクターと、幻想的な表現感覚を駆使した進行が特徴。近年の主な仕事に、渋谷区立臨川小学校演劇フェスティバルに向けた演劇の授業、世田谷パブリックシアター「中学生と高校生のための演劇ワークショップ 2006 春」(カイワの時間・プレゼントラベルの時間)、川崎市多摩市民館、取手アートプロジェクト関連企画で演劇ワークショップ進行・演出を担当など。2007年度より東京都立若葉総合高校で非常勤講師として演劇の授業を担当している。

吉野さつき

愛知大学文学部メディア芸術専攻准教授・ワークショップコーディネーター
シティ大学大学院(英国)芸術政策経営学部修士課程修了後、公共ホールの文化事業担当を経て、平成13年度文化庁派遣芸術家在外研修員として、英国で演劇のアウトリーチやエデュケーションプログラムの研修と調査を実施。教育、福祉、ビジネスなどの現場でさまざまなジャンルのアーティストによるワークショップをコーディネートする他、各地の公共ホールや大学などで、アウトリーチ事業やワークショップの企画運営を担う人材育成プログラムにも数多く携わる。文化経済学会(日本)会員。

◆ 協力 柏木 陽 (かしわぎ・あきら)

演劇百貨店代表・演劇家

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

お問合せ 〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町 123 番地

TEL : 0532-39-8810 <http://toyohashi-at.jp>

主催：公益財団法人豊橋文化振興財団

平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



